

「建交労とうきょう」はいつもでもみなさまからの記事や写真を待っています。
 (メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
 ホームページ <http://www.kenkouro.com/>

建交労

CTG・とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
 全日本建設交運一般労働組合東京都本部
 〒135-0048
 東京区門前仲町1-20-3
 東京建設労働会館7階
 電話 03 (3820) 8644 (代)
 fax 03 (3820) 8646
 編集発行人 松田 隆浩
 1部15円組合費に含まれる (元60円)



清掃ではたらく労働者の待遇改善で環境美化を!



関東支部・事業団高齢者部会・鉄道東京の仲間が訴えました

6月5日 世界環境デー 宣伝行動開催!

国連による国際的な記念日です。

6月5日 (水) 世界環境デーに合わせて、建交労東京都本部は清掃に関わる組織(鉄道東京、関東支部・事業団高齢者部会)で宣伝行動を開催し、赤羽駅西口前に35名の仲間が集いました。世界環

境デーは、1972年6月5日にスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念し、日本とセネガルとの共同提案により環境保全に関する啓蒙活動を図る日として制定された

■ 関東支部 浅井健一委員長 ■
 私たちは23区の下請でゴミ収集・運搬の仕事をしています。2000年4月1日に施行された「地方分権一括法」や都区制度改

革によって、ゴミの収集・運搬されます。若い人が安心して仕事や生活ができる環境を作る事、正理化により車両が減らされ積載量が増えて車両火災も増加しています。作業を下請けに丸投され事故も増え死亡事故までも発生しています。区によつて作業の6~7割が民間作業員に丸投げされ、仕事量 労働時間が増える中で、正規社員は減り、夏場の暑い時など休憩時間も少なく、低賃金で、年収

■ 東京事業団高齢者部会 岩山真一事務局次長 ■
 私達は、東京都内の公園や建物などの清掃の仕事をしている高齢者の団体です。各自治体が、民間業者を対象にした入札で仕事が決まりますが、予定価格を大幅に割り込んだ業者が落札するという実態が少なくありません。結果、労働者は最低賃金で就労、仕事の質の低下に繋がります。私達は、最低限価格制度を適切に導入すること、また、営利目的ではない私達のような団体に対しては、随意契約で仕事を出すよう要求しています。公園のゴミ拾い、掃き仕事、ゴミ分別、処分等は野外作業です。暑い時、寒い時、雨の時、風が強い時など、自然環境の中で体を動かす仕事です。中程度の体力的

も300万円に満たない人もおり、人手不足が深刻になっています。これまでにはその日の分のゴミ収集も出来ない事も生じる事が心配されます。若い人が安心して仕事や生活ができる環境を作る事、正規雇用労働者を増やす事、下請運賃・人件費の値上げが必要です。

■ 鉄道東京(アクセス分念) リンピックが開催される日本において、行政は、区民や労働者の安心・安全を将来に渡つて守る義務があります。

■ 鉄道東日本 渡辺執行委員会員 アクセス会社は、駅や列車内の清掃業務を行う、JR東日本の子会社で23区内に4つの事業者があります。人手不足が深刻で、会社側は「募集中でも来ない。来てもすぐ辞めてしまう。」とまともな回答をしません。駅のリニューアル工事などの際は、ゴミ回収や清掃などの日常業務の安全・安心は後回しにされ、ゴミ搬送に一般道を利用する事もあり、歩行者も危険にさらされています。

夏は、2020オリンピックが開催される予定ですが、ペットボトルや空き缶など最もゴミの量が多く発生する時期です。このままでは駅の清掃やゴミの回収が滞り、世界の人々にゴミだらけの駅を晒す事態に陥ります。低賃金で劣悪な労働条件・労働環境の状況を、アクセス会社とJRは責任をもつて改善し、人手不足も解消の上、人間らしく働ける条件を整えなければなりません。



5月30日全労連争議支援総行動 バス関連支部(京王新労組)

会社は東王新労組への差別をやめろ！

都本部とバス関連支部は中央労働委員会・東京高裁に対しても要請行動を取り組んでいます。

0日に取り組まれた全労連・東京地評主催の春の争議支援総行動にエントリーし京王電鉄本社前での宣伝行動に取り組みました。

京王電鉄の子会社京王バスでは、60歳で定年を迎えたバス運転手の多くは、再びバス運転手として再雇用されています。しかし、建交労の組合員は運転手として再雇用されず、時給千円、週3日勤務の車両清掃を強いられています。東京地裁はこれに違法性は無いと、会社側に立った不当判決を下しました。控訴

審は8月1日（木）14時東京高裁824号法廷で3回目の期日をむかえています。みなさんの傍聴支援を願います。

4日（日）15日（月）に群馬県伊香保で開催された総括会議での総括概要です。『政府主導の官製色が薄れた今年の春闘だつたが、トラック産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり『働き方改革』というキーワードのもと、多くの業界では人手不足長時間労働の改善をどのように取り組むのかが問われた春闘となつた。集団交渉に参加する職場においてもさまざまなかな問題を抱える中、2回の交渉

建設労働者連絡会議 基本集団交渉団 19春間前半総括

建交労東京学校 第5期 分会財政運用 会計監査の学習

統一要求の確立や交渉戦術の意
思統一も必要不可欠。あらため
て労働組合の役割である業界改
善運動と経営に対するチェック
機能の強化を行っていきたい。
また、全国トラック部会などが
主催する各行動に各支部・分会
から積極的に参加し、実態を訴
え続けなければならない。引き
続き、夏季一時金交渉に向け奮
闘して行きましょう。

を終えて全てが満足できる回答
が得られたとは言えないが、実
力行使を背景に一定の前進回答
を引き出し、全11社で本調印
が出来たことは建交労の春闘闘争
一グループとして評価できるも
のと考える。しかし、本来の目
的である産業全体の賃金・労働
条件の底上げには、現在の11社
職場では到底難しく、この集団
交渉団の拡大が急務。また、す

参加した組合員からは「現場の実態が反映され、原則的でわかりやすい内容だった」「実践的な内容で、改めて会計実務の整理が出来た」「不正の無い体制をどう構築するかが課題と感じた」「組合費の集金に労力が発生するため事実上会計責任者と分会長を兼任せざるを得ない」との意見が多かった。

6月1日(土) 5期目とな
る建交労東京学校を東京地評会
下会議室で開催しました。「分
会財政運用・会計監査の学習会」
と題して、都本部財政部長・副
委員長の石塚さんに約1時間講
義を頂き、10名が参加しました。
た。組合財政は、組合員全員の
財産である事に立脚し、一部の
幹部請負にならないようにする
工夫することや、入金・出金の

- 7月30日(火) 8時~反核トノクシャン
パン出發式／都庁前
- 8月 1日(木) 14時~バス関連支部(京王新労組) 東京高裁裁判824号法廷
- 8月 2日(金) 9時半集合~東京労働局交渉／九段下
- 8月 7日(水) ~9日(金) 原水爆禁止世界大会／in長崎
- 8月24日(土) 17時~京王支援共闘会議
JR武藏小金井駅宣伝行動
- 8月31日(土) ~2日(月) ~建交労中央定期大会／群馬県磯部温泉
- 9月 8日(日) ~建交労東京都本部第22回定期大会／トラック健保会館(市ヶ谷駅)



講師の石塚副委員長／財政部長